

視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう

帰り道

森 絵都 作
スカイエマ 絵

視点のちがい

1: 律の視点
2: 周也の視点

登場人物の心情

・ 律 ついていけない。ベリ続けているとき

・ 周 やりはり、律はおこってるんだ。ぼくの言葉は軽すぎる。

・ 昼休みの出来事

・ 律 ぼくだけについていけないかった。周也が急にいら

きよりも軽快な足音をきぎんで、また歩きだし
 た。ただ、
 まっとうなすくだけ。初めて、律の言葉をち
 ゃんと受け止められたのかもしれない。

登場人物の人物像

● 律
 思っていることがうまく言えないことをなや
 んでいる。

● 周
 しかりと物事を考えている。マイペース。

● 周
 おしゃべりだが、会話のキャッチボールがで
 きない。おしゃべりだが、会話のキャッチボールがで
 きれないとあせる。あせる。あせる。あせる。あせる。
 着きかなくし、あせる。

ついでに目がぼくをにらんだ。先のどがったする
 といものがみぞおちの辺りにずきとささつ
 た。言わなくてもいいことを言った。まずい。

● 律
 天気雨に降られたとき
 むやみにじたばたし、意味もなくとんだりはね
 たりした。たがいのぬれた頭を指さし合って笑

● 周
 何もかもがむしよにおかしくて、笑いがあふ
 れだした。律もいっしょに笑ってくれたのがう

● 律
 雨が上がり、二人で歩き始めたとき
 分かつてもらえた気がした。ぬれた地面にさつ
 れしく、とさらに大声をはり上げた。

感想

・自分の失敗をすぐ反省できる。

1の場面は律の視点、
 2の場面は周也の視点か
 ら物語が進むのがおもし
 ろか。同じ出来事で
 も、それぞれ別の考え
 方も、感じ方がちが
 っている。言葉の使
 い方によつて相手に
 伝わらない。でも、
 その言葉の使い方に
 つけようと思つた。あ
 と、話が合い活動の
 ときは人か、い
 なかなか自分の考え
 や思いを伝えられ
 ない。人はあるとい
 うのも、考えている
 ことをや思つたり、
 思うので、質問の仕
 方を変えたり、ゆ、
 たりしたいと思つた。